

【参考】都府県別の負傷者数

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 7,100	約 70	約 1,200	約 90	約 87,000	約 500
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 200	約 80	約 100	約 20	約 38,000	約 70
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 500	約 60	約 200	約 20	約 26,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 300	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	-	約 100	約 300	約 20	約 34,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 600	約 40	-	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 8,400	約 500	約 2,500	約 600	約 318,000	約 700

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	-	-	約 80	-	-	-	約 80	-
神奈川県	約 400	約 400	約 800	-	-	約 10	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 12,000	約 70	約 1,200	約 90	約 92,000	約 600
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 1,000	約 20	約 300	約 80	約 46,000	約 500
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,400	約 80	約 100	約 20	約 39,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 90	-	約 10	約 200	約 13,000	約 200
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 80	-	-	約 40	約 6,200	約 50
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,900	約 60	約 200	約 20	約 28,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 700	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 200
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 800	約 10	-	-	約 1,600	約 10
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	-	約 10	約 14,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 90	-	-	-	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 24,000	約 500	約 2,500	約 600	約 333,000	約 2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 7,100	約 70	約 1,400	約 90	約 87,000	約 500
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 200	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 70
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 500	約 60	約 400	約 20	約 27,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 300	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	-	約 100	約 400	約 20	約 34,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 600	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 8,400	約 500	約 3,200	約 600	約 318,000	約 700

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	-	-	約 80	-	-	-	約 80	-
神奈川県	約 400	約 400	約 800	-	-	約 10	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 12,000	約 70	約 1,400	約 90	約 92,000	約 600
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 1,000	約 20	約 400	約 80	約 46,000	約 500
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,400	約 80	約 200	約 20	約 39,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 90	-	約 30	約 200	約 14,000	約 200
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 80	-	-	約 40	約 6,200	約 50
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,900	約 60	約 400	約 20	約 28,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 700	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 400	約 20	約 35,000	約 200
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 800	約 10	-	-	約 1,600	約 10
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	約 10	約 10	約 14,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 90	-	-	-	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 24,000	約 500	約 3,200	約 600	約 334,000	約 2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	-	-	約10	-
神奈川県	約400	約400	-	-	-	約200	約500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
山梨県	約2,900	約500	-	-	-	約100	約3,100	-
長野県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,100	約300	-	-	-	約40	約1,100	-
静岡県	約69,000	約18,000	約4,200	約30	約1,600	約1,300	約76,000	約500
愛知県	約29,000	約8,200	-	約10	約400	約1,300	約31,000	-
三重県	約28,000	約4,000	約100	約30	約200	約300	約29,000	約20
滋賀県	約900	約400	-	-	-	約100	約1,000	-
京都府	約1,300	約700	-	-	-	約700	約2,100	-
大阪府	約9,800	約4,600	-	-	約10	約3,100	約13,000	約40
兵庫県	約4,500	約1,700	-	-	-	約600	約5,100	-
奈良県	約2,900	約700	-	約10	-	約300	約3,200	-
和歌山県	約21,000	約3,200	約200	約30	約400	約200	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,000	約600	-	-	-	約100	約2,100	約10
広島県	約200	約200	-	-	-	約20	約200	-
山口県	約30	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約18,000	約3,800	-	約20	約400	約200	約19,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	-	約90	約3,300	-
愛媛県	約7,000	約900	-	約10	-	約100	約7,100	-
高知県	約29,000	約5,700	-	約50	約400	約200	約30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約40	約300	-
大分県	約600	約300	-	-	-	約40	約600	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約20	約10	約200	約7,900	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約10	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約240,000	約56,000	約4,700	約200	約3,400	約9,400	約257,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60	-
神奈川県	約 400	約 400	約 700	-	-	約 200	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 9,200	約 30	約 1,600	約 1,300	約 81,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 700	約 10	約 400	約 1,300	約 32,000	約 400
三重県	約 28,000	約 4,000	約 1,200	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 100	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 100
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 100	-	-	約 600	約 5,200	約 40
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,700	約 30	約 400	約 200	約 23,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	-
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 700	約 20	約 400	約 200	約 20,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,700	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 20	約 10	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 10	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 20,000	約 200	約 3,400	約 9,400	約 273,000	約 2,400

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 4,200	約 30	約 1,700	約 1,300	約 76,000	約 500
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 500	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 100	約 30	約 200	約 300	約 29,000	約 20
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 40
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 200	約 30	約 600	約 200	約 22,000	約 40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 400	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	-	約 50	約 600	約 200	約 30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 200	約 20	約 20	約 200	約 7,900	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 4,700	約 200	約 4,200	約 9,400	約 258,000	約 600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、風速8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60	-
神奈川県	約 400	約 400	約 700	-	-	約 200	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 9,200	約 30	約 1,700	約 1,300	約 81,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 700	約 10	約 500	約 1,300	約 32,000	約 400
三重県	約 28,000	約 4,000	約 1,200	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 100	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 100
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 100	-	-	約 600	約 5,200	約 40
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,700	約 30	約 600	約 200	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	-
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 700	約 20	約 400	約 200	約 20,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,700	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 600	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 20	約 20	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 10	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 20,000	約 200	約 4,200	約 9,400	約 274,000	約 2,400

-：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	約10	-	約20	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約4,100	約50	約3,700	約2,300	約71,000	約500
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,000	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約100	約50	約700	約500	約28,000	約20
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約10	約1,200	約2,700	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約3,500	約5,400	約20,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約50	約1,100	約6,200	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約10	約500	約4,000	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約200	約40	約1,400	約400	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	-	約200	約2,500	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約900	約400	約18,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	約10	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約40	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	-	約90	約1,000	約400	約27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約30	約300	約300	約8,300	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約4,700	約400	約14,000	約16,000	約262,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	約 10	-	約 70	-
神奈川県	約 300	約 300	約 700	-	約 10	約 400	約 1,300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 9,100	約 50	約 3,700	約 2,300	約 76,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 800	約 20	約 2,000	約 2,200	約 35,000	約 400
三重県	約 26,000	約 3,900	約 1,200	約 50	約 700	約 500	約 29,000	約 200
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 100	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 100
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 100	-	約 50	約 1,100	約 6,300	約 40
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,700	約 40	約 1,400	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 700	約 30	約 900	約 400	約 19,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	約 10	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 40	約 300	約 7,900	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 1,000	約 400	約 28,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 20	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 20,000	約 400	約 14,000	約 16,000	約 277,000	約 2,300

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	約10	-	約20	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約4,100	約50	約3,900	約2,300	約71,000	約500
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,100	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約100	約50	約800	約500	約28,000	約20
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約200	約1,200	約3,000	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約4,500	約5,400	約21,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約200	約1,100	約6,300	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約50	約500	約4,100	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約200	約40	約1,400	約400	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	約40	約200	約2,600	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約900	約400	約18,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	約20	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約80	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	-	約90	約1,200	約400	約27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約30	約300	約300	約8,300	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約4,700	約400	約16,000	約16,000	約264,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	約 10	-	約 70	-
神奈川県	約 300	約 300	約 700	-	約 10	約 400	約 1,300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 9,100	約 50	約 3,900	約 2,300	約 76,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 800	約 20	約 2,100	約 2,200	約 35,000	約 400
三重県	約 26,000	約 3,900	約 1,200	約 50	約 800	約 500	約 29,000	約 200
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 100	-	約 4,500	約 5,400	約 21,000	約 100
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 100	-	約 200	約 1,100	約 6,500	約 40
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,700	約 40	約 1,400	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 700	約 30	約 900	約 400	約 19,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	約 20	約 200	約 3,400	-
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 80	約 300	約 8,000	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 1,200	約 400	約 28,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 20	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 20,000	約 400	約 16,000	約 16,000	約 279,000	約 2,300

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	約 30	-	-	-	約 50	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 7,100	約 40	約 900	約 70	約 80,000	約 300
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,100	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 200	約 80	約 600	約 30	約 65,000	約 70
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 400	約 50	約 1,000	約 20	約 37,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 10
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 10
高知県	約 45,000	約 13,000	-	約 100	約 600	約 30	約 46,000	約 10
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 600	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 30
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 8,400	約 800	約 8,900	約 1,100	約 606,000	約 600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	約 10	約 10	約 80	-	-	-	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 800	-	-	-	約 1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 12,000	約 40	約 900	約 70	約 84,000	約 400
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 1,000	約 60	約 2,100	約 200	約 100,000	約 600
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,400	約 80	約 600	約 30	約 66,000	約 300
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 90	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 300
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 80	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 100
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,900	約 50	約 1,000	約 20	約 39,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 700	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 500	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 600	約 30	約 47,000	約 200
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 800	約 50	-	約 10	約 4,800	約 50
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 90	-	-	-	約 700	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 24,000	約 800	約 8,900	約 1,100	約 621,000	約 2,900

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	約 30	-	-	-	約 50	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 7,100	約 40	約 900	約 70	約 80,000	約 300
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,200	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 200	約 80	約 600	約 30	約 65,000	約 70
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 400	約 50	約 1,100	約 20	約 37,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 10
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 10
高知県	約 45,000	約 13,000	-	約 100	約 800	約 30	約 46,000	約 10
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 600	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 30
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 8,400	約 800	約 11,000	約 1,100	約 608,000	約 600

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内 収容物移動・転倒、 屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	約 10	約 10	約 80	-	-	-	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 800	-	-	-	約 1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 12,000	約 40	約 900	約 70	約 84,000	約 400
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 1,000	約 60	約 2,200	約 200	約 100,000	約 600
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,400	約 80	約 600	約 30	約 66,000	約 300
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 90	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 300
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 80	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 100
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,900	約 50	約 1,100	約 20	約 39,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 700	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 800	約 30	約 47,000	約 200
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 800	約 50	-	約 10	約 4,800	約 50
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 90	-	-	-	約 700	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 24,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 623,000	約 2,900

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	約10	-	-	約40	約70	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約4,200	約20	約1,100	約1,100	約79,000	約400
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,500	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約100	約30	約700	約400	約55,000	約20
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,100	約5,700	約42,000	約50
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約200	約30	約1,200	約300	約33,000	約40
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約10
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約700	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約60	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約10
高知県	約44,000	約9,800	-	約40	約800	約400	約45,000	-
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約200	約10	約200	約200	約17,000	-
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約4,700	約300	約11,000	約17,000	約507,000	約500

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	約 20	約 20	約 60	-	-	約 40	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 700	-	-	約 80	約 1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 9,200	約 20	約 1,100	約 1,100	約 84,000	約 400
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 700	約 20	約 2,500	約 2,500	約 78,000	約 500
三重県	約 54,000	約 9,200	約 1,200	約 30	約 700	約 400	約 56,000	約 200
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 100	約 10	約 3,100	約 5,700	約 42,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 100	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	約 90
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 1,700	約 30	約 1,200	約 300	約 34,000	約 200
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 30
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	約 10
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 700	約 20	約 700	約 300	約 30,000	約 100
香川県	約 17,000	約 2,000	約 10	約 10	約 60	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 500	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	約 700	約 40	約 800	約 400	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 900	約 20	-	約 90	約 3,500	約 80
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,600	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 80	-	-	約 10	約 700	約 60
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 20,000	約 300	約 11,000	約 17,000	約 522,000	約 2,600

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 4,200	約 20	約 1,100	約 1,100	約 79,000	約 400
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 100	約 30	約 800	約 400	約 55,000	約 20
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,800	約 5,700	約 42,000	約 50
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 200	約 30	約 1,300	約 300	約 33,000	約 40
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 10
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	-	約 20	約 700	約 300	約 29,000	-
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 90	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 10
高知県	約 44,000	約 9,800	-	約 40	約 1,000	約 400	約 45,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 200	約 10	約 300	約 200	約 17,000	-
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 4,700	約 300	約 13,000	約 17,000	約 509,000	約 500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏12時、風速8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約20	-	-	-	約20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約700	-	-	-	約700	-
東京都	約20	約20	約60	-	-	約40	約100	-
神奈川県	約200	約200	約700	-	-	約80	約1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約9,200	約20	約1,100	約1,100	約84,000	約400
愛知県	約72,000	約24,000	約700	約20	約2,600	約2,500	約78,000	約500
三重県	約54,000	約9,200	約1,200	約30	約800	約400	約56,000	約200
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約100	約1,700	約9,600	-
大阪府	約33,000	約11,000	約100	約10	約3,800	約5,700	約43,000	約300
兵庫県	約14,000	約3,700	約100	約10	約100	約1,200	約16,000	約90
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約100	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約1,700	約30	約1,300	約300	約34,000	約200
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約80	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約30
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	約10
徳島県	約28,000	約6,200	約700	約20	約700	約300	約30,000	約100
香川県	約17,000	約2,000	約10	約10	約90	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	約500	約20	約800	約500	約39,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	約700	約40	約1,000	約400	約46,000	約100
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	約900	約20	-	約90	約3,500	約80
宮崎県	約16,000	約3,100	約2,600	約10	約300	約200	約19,000	約400
鹿児島県	約600	約100	約80	-	-	約10	約700	約60
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約474,000	約110,000	約20,000	約300	約13,000	約17,000	約524,000	約2,600

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 4,200	約 30	約 2,400	約 1,900	約 67,000	約 400
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,100	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 100	約 50	約 1,800	約 800	約 49,000	約 20
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 50
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 200	約 40	約 2,400	約 600	約 32,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 10
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,300	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 10
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,500	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 700	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 4,700	約 500	約 39,000	約 29,000	約 516,000	約 500

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）							
茨城県	-	-	約20	-	-	-	約20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約700	-	-	-	約700	-
東京都	約20	約20	約60	-	約10	約100	約200	-
神奈川県	約200	約200	約700	-	約10	約200	約1,100	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約70	約70	-	-	-	約10	約80	-
山梨県	約4,100	約600	-	約10	約10	約300	約4,400	-
長野県	約1,300	約300	-	約10	-	約80	約1,400	-
岐阜県	約3,200	約700	-	約10	約10	約200	約3,400	-
静岡県	約58,000	約17,000	約9,100	約30	約2,400	約1,900	約72,000	約400
愛知県	約68,000	約22,000	約800	約40	約7,100	約4,200	約80,000	約500
三重県	約46,000	約8,900	約1,200	約50	約1,800	約800	約50,000	約200
滋賀県	約7,400	約1,100	-	-	約50	約400	約7,900	-
京都府	約9,100	約1,900	-	-	約2,100	約2,900	約14,000	-
大阪府	約38,000	約11,000	約100	約10	約15,000	約9,700	約63,000	約300
兵庫県	約17,000	約3,700	約100	約10	約800	約2,100	約20,000	約90
奈良県	約13,000	約2,200	-	約30	約600	約1,000	約15,000	-
和歌山県	約29,000	約5,600	約1,700	約40	約2,400	約600	約34,000	約200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約12,000	約1,600	-	約10	約400	約500	約13,000	約20
広島県	約7,500	約1,400	-	約20	約20	約800	約8,400	約20
山口県	約1,200	約100	-	約10	-	約40	約1,200	約10
徳島県	約24,000	約5,900	約700	約40	約1,300	約500	約27,000	約100
香川県	約16,000	約1,900	約10	約20	約300	約300	約17,000	-
愛媛県	約34,000	約6,000	約500	約40	約1,900	約800	約37,000	約20
高知県	約36,000	約9,300	約700	約70	約1,500	約700	約39,000	約100
福岡県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約300	約200	-	約10	-	約70	約400	-
大分県	約2,700	約500	約900	約30	約10	約200	約3,800	約80
宮崎県	約15,000	約2,900	約2,600	約10	約700	約400	約18,000	約400
鹿児島県	約400	約100	約80	-	-	約20	約600	約60
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約443,000	約105,000	約20,000	約500	約39,000	約29,000	約531,000	約2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 4,200	約 30	約 2,500	約 1,900	約 67,000	約 400
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,100	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 100	約 50	約 1,800	約 800	約 49,000	約 20
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 50
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 200	約 40	約 2,400	約 600	約 32,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 10
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,300	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 10
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,800	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 800	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 4,700	約 500	約 42,000	約 29,000	約 519,000	約 500

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬18時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約20	-	-	-	約20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約700	-	-	-	約700	-
東京都	約20	約20	約60	-	約10	約100	約200	-
神奈川県	約200	約200	約700	-	約10	約200	約1,100	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約70	約70	-	-	-	約10	約80	-
山梨県	約4,100	約600	-	約10	約40	約300	約4,400	-
長野県	約1,300	約300	-	約10	-	約80	約1,400	-
岐阜県	約3,200	約700	-	約10	約20	約200	約3,400	-
静岡県	約58,000	約17,000	約9,100	約30	約2,500	約1,900	約72,000	約400
愛知県	約68,000	約22,000	約800	約40	約7,100	約4,200	約80,000	約500
三重県	約46,000	約8,900	約1,200	約50	約1,800	約800	約50,000	約200
滋賀県	約7,400	約1,100	-	-	約100	約400	約8,000	-
京都府	約9,100	約1,900	-	-	約2,700	約2,900	約15,000	-
大阪府	約38,000	約11,000	約100	約10	約16,000	約9,700	約64,000	約300
兵庫県	約17,000	約3,700	約100	約10	約1,100	約2,100	約20,000	約90
奈良県	約13,000	約2,200	-	約30	約900	約1,000	約15,000	-
和歌山県	約29,000	約5,600	約1,700	約40	約2,400	約600	約34,000	約200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約12,000	約1,600	-	約10	約500	約500	約13,000	約20
広島県	約7,500	約1,400	-	約20	約40	約800	約8,400	約20
山口県	約1,200	約100	-	約10	-	約40	約1,200	約10
徳島県	約24,000	約5,900	約700	約40	約1,300	約500	約27,000	約100
香川県	約16,000	約1,900	約10	約20	約400	約300	約17,000	-
愛媛県	約34,000	約6,000	約500	約40	約2,400	約800	約38,000	約20
高知県	約36,000	約9,300	約700	約70	約1,800	約700	約39,000	約100
福岡県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約300	約200	-	約10	-	約70	約400	-
大分県	約2,700	約500	約900	約30	約30	約200	約3,800	約80
宮崎県	約15,000	約2,900	約2,600	約10	約800	約400	約18,000	約400
鹿児島県	約400	約100	約80	-	-	約20	約600	約60
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約443,000	約105,000	約20,000	約500	約42,000	約29,000	約535,000	約2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 700	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 1,200
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 300	約 80	約 100	約 20	約 38,000	約 80
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,000	約 60	約 200	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 600	約 50	約 200	約 10	約 23,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 300	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 40
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 400	約 40	-	約 10	約 11,000	約 100
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 3,300	約 500	約 2,500	約 600	約 313,000	約 1,500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 200	-	-	約 10	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,200	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 1,400
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 600	約 20	約 300	約 80	約 45,000	約 100
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,000	約 80	約 100	約 20	約 38,000	約 100
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 600	-	約 10	約 200	約 14,000	約 400
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 700	-	-	約 40	約 6,800	約 200
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,700	約 60	約 200	約 20	約 29,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 2,500	約 50	約 200	約 10	約 25,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,400	約 100	約 300	約 20	約 36,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 900	約 10	-	-	約 1,800	約 30
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 3,000	約 40	-	約 10	約 14,000	約 500
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 16,000	約 500	約 2,500	約 600	約 325,000	約 3,300

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 700	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 1,200
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 300	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 80
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,000	約 60	約 400	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 600	約 50	約 200	約 10	約 23,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 300	約 100	約 400	約 20	約 35,000	約 40
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 400	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 100
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 3,300	約 500	約 3,200	約 600	約 313,000	約 1,500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 200	-	-	約 10	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,200	約 70	約 1,500	約 90	約 82,000	約 1,400
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 600	約 20	約 400	約 80	約 45,000	約 100
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,000	約 80	約 200	約 20	約 39,000	約 100
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 600	-	約 30	約 200	約 14,000	約 400
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 700	-	-	約 40	約 6,800	約 200
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,700	約 60	約 400	約 20	約 29,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 2,500	約 50	約 200	約 10	約 25,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,400	約 100	約 400	約 20	約 36,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 900	約 10	-	-	約 1,800	約 30
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 3,000	約 40	約 10	約 10	約 14,000	約 500
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 16,000	約 500	約 3,200	約 600	約 326,000	約 3,300

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 400	約 30	約 1,700	約 1,300	約 72,000	約 400
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 200	約 30	約 200	約 300	約 29,000	-
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 500	約 30	約 300	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 100	約 20	約 300	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 30	約 50	約 400	約 200	約 30,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 20	約 10	約 200	約 7,800	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 1,300	約 200	約 3,400	約 9,400	約 254,000	約 500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 100	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,300	約 30	約 1,700	約 1,300	約 73,000	約 900
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 400	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	約 100
三重県	約 28,000	約 4,000	約 900	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 40
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 1,300	-	約 10	約 3,100	約 14,000	約 300
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 1,000	-	-	約 600	約 6,100	約 300
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,400	約 30	約 300	約 200	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 10	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 2,500	約 20	約 300	約 200	約 21,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,600	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 20	約 10	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 10	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 16,000	約 200	約 3,400	約 9,400	約 268,000	約 2,400

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 400	約 30	約 1,800	約 1,300	約 72,000	約 400
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 200	約 30	約 300	約 300	約 29,000	-
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 500	約 30	約 500	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 100	約 20	約 300	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 30	約 50	約 500	約 200	約 30,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 20	約 20	約 200	約 7,800	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 1,300	約 200	約 4,100	約 9,400	約 255,000	約 500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 100	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,300	約 30	約 1,800	約 1,300	約 73,000	約 900
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 400	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	約 100
三重県	約 28,000	約 4,000	約 900	約 30	約 300	約 300	約 30,000	約 40
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 1,300	-	約 100	約 3,100	約 14,000	約 300
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 1,000	-	-	約 600	約 6,100	約 300
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,400	約 30	約 500	約 200	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 10	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 2,500	約 20	約 300	約 200	約 21,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,600	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 500	約 200	約 31,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 20	約 20	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 10	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 16,000	約 200	約 4,100	約 9,400	約 269,000	約 2,400

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 400	約 50	約 4,000	約 2,300	約 67,000	約 400
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 200	約 50	約 900	約 500	約 28,000	-
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 50	約 1,100	約 6,200	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 500	約 40	約 1,100	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 100	約 30	約 700	約 400	約 18,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 10	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 40	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 30	約 90	約 900	約 400	約 27,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 30	約 300	約 300	約 8,200	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 1,300	約 400	約 14,000	約 16,000	約 258,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 20	-	約 10	-	約 30	-
神奈川県	約 300	約 300	約 100	-	約 10	約 400	約 800	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 1,300	約 50	約 4,000	約 2,300	約 68,000	約 900
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 400	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	約 100
三重県	約 26,000	約 3,900	約 900	約 50	約 900	約 500	約 29,000	約 40
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 1,400	-	約 3,500	約 5,400	約 21,000	約 300
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 900	-	約 50	約 1,100	約 7,100	約 200
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 2,400	約 40	約 1,100	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 10	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 2,500	約 30	約 700	約 400	約 20,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 10	約 200	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 40	約 300	約 7,900	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 1,000	約 90	約 900	約 400	約 28,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 1,000	約 10	-	約 80	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 20	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 15,000	約 400	約 14,000	約 16,000	約 272,000	約 2,400

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 400	約 50	約 4,200	約 2,300	約 68,000	約 400
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 200	約 50	約 900	約 500	約 28,000	-
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 200	約 1,100	約 6,300	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 500	約 40	約 1,200	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 100	約 30	約 700	約 400	約 18,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 20	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 80	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 30	約 90	約 1,100	約 400	約 27,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 30	約 300	約 300	約 8,300	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 1,300	約 400	約 16,000	約 16,000	約 260,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考) 堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収納物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 20	-	約 10	-	約 30	-
神奈川県	約 300	約 300	約 100	-	約 10	約 400	約 800	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 1,300	約 50	約 4,200	約 2,300	約 69,000	約 900
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 400	約 20	約 2,200	約 2,200	約 35,000	約 100
三重県	約 26,000	約 3,900	約 900	約 50	約 900	約 500	約 29,000	約 40
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 1,400	-	約 4,400	約 5,400	約 22,000	約 300
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 900	-	約 200	約 1,100	約 7,200	約 200
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 2,400	約 40	約 1,200	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 10	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 2,500	約 30	約 700	約 400	約 20,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 20	約 200	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 80	約 300	約 7,900	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 1,000	約 90	約 1,100	約 400	約 28,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 1,000	約 10	-	約 80	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 20	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 15,000	約 400	約 16,000	約 16,000	約 275,000	約 2,400

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 700	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,000
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,100	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 300	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 80
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,000	約 50	約 800	約 20	約 37,000	約 80
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 600	約 50	約 400	約 20	約 32,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 300	約 100	約 600	約 30	約 46,000	約 40
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 400	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 3,300	約 800	約 8,800	約 1,100	約 601,000	約 1,400

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 40	-
神奈川県	約 200	約 200	約 200	-	-	-	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,200	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,100
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 600	約 60	約 2,100	約 200	約 100,000	約 100
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,000	約 80	約 700	約 30	約 66,000	約 100
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 600	約 10	約 2,500	約 400	約 50,000	約 600
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 700	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 400
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,700	約 50	約 800	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 2,500	約 50	約 400	約 20	約 34,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 40	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 500	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,400	約 100	約 600	約 30	約 47,000	約 80
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 900	約 50	-	約 10	約 4,900	約 100
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 3,000	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 500
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 16,000	約 800	約 8,800	約 1,100	約 614,000	約 3,600

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 700	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,000
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,300	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 300	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 80
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,000	約 50	約 900	約 20	約 38,000	約 80
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 600	約 50	約 400	約 20	約 32,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 300	約 100	約 700	約 30	約 46,000	約 40
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 400	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 3,300	約 800	約 11,000	約 1,100	約 603,000	約 1,400

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 40	-
神奈川県	約 200	約 200	約 200	-	-	-	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,200	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,100
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 600	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	約 100
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,000	約 80	約 800	約 30	約 66,000	約 100
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 600	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 600
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 700	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 400
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,700	約 50	約 900	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 2,500	約 50	約 400	約 20	約 34,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 60	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,400	約 100	約 700	約 30	約 47,000	約 80
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 900	約 50	-	約 10	約 4,900	約 100
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 3,000	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 500
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 16,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 615,000	約 3,600

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約400	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約300
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,600	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約200	約30	約900	約400	約55,000	-
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,100	約5,700	約42,000	約50
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約500	約30	約1,000	約300	約33,000	約60
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約30
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	約100	約20	約500	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約50	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	約30	約40	約700	約400	約45,000	約10
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約90	約10	約200	約200	約17,000	約20
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約1,300	約300	約11,000	約17,000	約503,000	約500

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	-	約 40	約 80	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,300	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 700
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 400	約 20	約 2,600	約 2,500	約 78,000	約 100
三重県	約 54,000	約 9,200	約 900	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 40
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 1,300	約 10	約 3,100	約 5,700	約 43,000	約 500
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 1,000	約 10	約 70	約 1,200	約 17,000	約 600
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,400	約 30	約 1,000	約 300	約 35,000	約 200
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 10	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 2,500	約 20	約 500	約 300	約 31,000	約 80
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 50	約 200	約 18,000	約 30
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 500	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 30
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 700	約 400	約 46,000	約 90
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,500	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 100	-	-	約 10	約 700	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 15,000	約 300	約 11,000	約 17,000	約 518,000	約 3,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	-	約 40	約 60	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 400	約 20	約 1,200	約 1,100	約 75,000	約 300
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,700	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 200	約 30	約 900	約 400	約 55,000	-
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,800	約 5,700	約 42,000	約 50
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 500	約 30	約 1,100	約 300	約 33,000	約 60
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 30
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 100	約 20	約 500	約 300	約 29,000	-
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 90	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	約 30	約 40	約 900	約 400	約 45,000	約 10
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 90	約 10	約 300	約 200	約 17,000	約 20
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 1,300	約 300	約 13,000	約 17,000	約 505,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	-	約 40	約 80	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,300	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 700
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 400	約 20	約 2,700	約 2,500	約 78,000	約 100
三重県	約 54,000	約 9,200	約 900	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 40
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 1,300	約 10	約 3,800	約 5,700	約 44,000	約 500
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 1,000	約 10	約 100	約 1,200	約 17,000	約 600
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,400	約 30	約 1,100	約 300	約 35,000	約 200
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 10	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 2,500	約 20	約 500	約 300	約 31,000	約 80
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 90	約 200	約 18,000	約 30
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 500	約 20	約 800	約 500	約 39,000	約 30
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 900	約 400	約 46,000	約 90
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,500	約 10	約 300	約 200	約 19,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 100	-	-	約 10	約 700	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 15,000	約 300	約 13,000	約 17,000	約 519,000	約 3,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 400	約 30	約 2,700	約 1,900	約 63,000	約 300
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 200	約 50	約 2,000	約 800	約 50,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 500	約 40	約 2,000	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 100	約 40	約 1,100	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 30	約 70	約 1,300	約 700	約 38,000	約 10
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 90	約 10	約 700	約 400	約 16,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 1,300	約 500	約 39,000	約 29,000	約 512,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	約 10	約 100	約 200	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	約 10	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,300	約 30	約 2,700	約 1,900	約 64,000	約 700
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 400	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 100
三重県	約 46,000	約 8,900	約 900	約 50	約 2,000	約 800	約 50,000	約 40
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 1,400	約 10	約 15,000	約 9,700	約 64,000	約 500
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 900	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	約 500
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,400	約 40	約 2,000	約 600	約 34,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 10	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 2,500	約 40	約 1,100	約 500	約 28,000	約 80
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 300	約 300	約 17,000	約 30
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 500	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 30
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,300	約 700	約 39,000	約 90
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 10	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,500	約 10	約 700	約 400	約 18,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 100	-	-	約 20	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 15,000	約 500	約 39,000	約 29,000	約 527,000	約 3,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 400	約 30	約 2,800	約 1,900	約 63,000	約 300
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 200	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 500	約 40	約 2,000	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 100	約 40	約 1,000	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 30	約 70	約 1,600	約 700	約 38,000	約 10
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 90	約 10	約 800	約 400	約 16,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 1,300	約 500	約 42,000	約 29,000	約 516,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	約 10	約 100	約 200	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	約 10	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,300	約 30	約 2,800	約 1,900	約 64,000	約 700
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 400	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 100
三重県	約 46,000	約 8,900	約 900	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 40
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 1,400	約 10	約 16,000	約 9,700	約 65,000	約 500
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 900	約 10	約 1,100	約 2,100	約 21,000	約 500
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,400	約 40	約 2,000	約 600	約 34,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 10	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 2,500	約 40	約 1,000	約 500	約 28,000	約 80
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 400	約 300	約 17,000	約 30
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 500	約 40	約 2,400	約 800	約 38,000	約 30
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,600	約 700	約 39,000	約 90
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 30	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,500	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 100	-	-	約 20	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 15,000	約 500	約 42,000	約 29,000	約 530,000	約 3,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 500	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 800
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 100	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 60
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 700	約 60	約 200	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 90	約 50	約 200	約 10	約 23,000	約 30
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 100	約 100	約 300	約 20	約 34,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 300	約 40	-	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,800	約 500	約 2,500	約 600	約 311,000	約 1,100

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,000	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 1,000
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 400	約 20	約 300	約 80	約 45,000	約 50
三重県	約 37,000	約 5,400	約 800	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 400	-	約 10	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 400	-	-	約 40	約 6,500	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,200	約 60	約 200	約 20	約 28,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 20	-	-	-	約 50	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 1,100	約 50	約 200	約 10	約 24,000	約 300
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 300	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,200	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,200	約 10	-	-	約 2,000	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	-	約 10	約 14,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 12,000	約 500	約 2,500	約 600	約 322,000	約 2,700

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考) 堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 500	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 800
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 100	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 60
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 700	約 60	約 400	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 90	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 30
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 100	約 100	約 300	約 20	約 34,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 300	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,800	約 500	約 3,200	約 600	約 312,000	約 1,100

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,000	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 1,000
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 400	約 20	約 400	約 80	約 45,000	約 50
三重県	約 37,000	約 5,400	約 800	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 400	-	約 30	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 400	-	-	約 40	約 6,500	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,200	約 60	約 400	約 20	約 28,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 20	-	-	-	約 50	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 1,100	約 50	約 300	約 10	約 24,000	約 300
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 300	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,200	約 100	約 300	約 20	約 36,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,200	約 10	-	-	約 2,000	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	約 10	約 10	約 14,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 12,000	約 500	約 3,200	約 600	約 322,000	約 2,700

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 300	約 30	約 1,700	約 1,300	約 72,000	約 300
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 50	約 30	約 200	約 300	約 29,000	約 10
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 300	約 30	約 400	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 40	約 50	約 300	約 200	約 30,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 20	約 10	約 200	約 7,800	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 800	約 200	約 3,400	約 9,400	約 253,000	約 400

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 40	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,100	約 30	約 1,700	約 1,300	約 73,000	約 700
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 700	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 500	-	約 10	約 3,100	約 14,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 500	-	-	約 600	約 5,600	約 200
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,000	約 30	約 400	約 200	約 24,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 1,200	約 20	約 300	約 200	約 20,000	約 300
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 50
愛媛県	約 7,000	約 900	約 300	約 10	-	約 100	約 7,400	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 300	約 200	約 31,000	約 60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 30
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,300	約 20	約 10	約 200	約 10,000	約 300
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	約 10	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 11,000	約 200	約 3,400	約 9,400	約 264,000	約 2,200

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 300	約 30	約 1,800	約 1,300	約 72,000	約 300
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 50	約 30	約 300	約 300	約 29,000	約 10
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 300	約 30	約 500	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 40	約 50	約 400	約 200	約 30,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 20	約 30	約 200	約 7,800	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 800	約 200	約 4,200	約 9,400	約 254,000	約 400

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 40	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,100	約 30	約 1,800	約 1,300	約 73,000	約 700
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 700	約 30	約 300	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 500	-	約 100	約 3,100	約 14,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 500	-	-	約 600	約 5,600	約 200
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,000	約 30	約 500	約 200	約 24,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 1,200	約 20	約 300	約 200	約 20,000	約 300
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 50
愛媛県	約 7,000	約 900	約 300	約 10	-	約 100	約 7,400	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 30
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,300	約 20	約 30	約 200	約 10,000	約 300
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	約 10	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 11,000	約 200	約 4,200	約 9,400	約 265,000	約 2,200

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 300	約 50	約 4,000	約 2,300	約 67,000	約 300
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 50	約 50	約 900	約 500	約 28,000	約 20
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 50	約 1,100	約 6,200	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 400	約 40	約 1,200	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	-	約 30	約 800	約 400	約 18,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 10	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 40	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 40	約 90	約 800	約 400	約 27,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 30	約 300	約 300	約 8,200	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 800	約 400	約 14,000	約 16,000	約 258,000	約 400

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20	-
神奈川県	約 300	約 300	約 40	-	約 10	約 400	約 700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 1,100	約 50	約 4,000	約 2,300	約 68,000	約 700
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 200	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	約 40
三重県	約 26,000	約 3,900	約 700	約 50	約 900	約 500	約 28,000	約 200
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 600	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 200
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 500	-	約 50	約 1,100	約 6,700	約 200
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 2,000	約 40	約 1,200	約 400	約 24,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 20	-	-	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	約 10	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 1,100	約 30	約 800	約 400	約 19,000	約 300
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 10	約 200	約 3,500	約 50
愛媛県	約 7,100	約 800	約 300	約 20	約 40	約 300	約 7,700	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 1,000	約 90	約 800	約 400	約 28,000	約 60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 1,000	約 10	-	約 80	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,200	約 30	約 300	約 300	約 10,000	約 300
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	約 20	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 11,000	約 400	約 14,000	約 16,000	約 268,000	約 2,200

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬18時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約10	-	約10	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約300	約50	約4,200	約2,300	約67,000	約300
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,200	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約50	約50	約1,000	約500	約28,000	約20
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約200	約1,200	約3,000	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約4,400	約5,400	約21,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約200	約1,100	約6,300	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約50	約500	約4,100	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約400	約40	約1,300	約400	約22,000	約60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	約40	約200	約2,600	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約800	約400	約18,000	約30
香川県	約3,200	約500	-	-	約20	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約80	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	約40	約90	約900	約400	約27,000	約20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約50	約30	約300	約300	約8,200	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約800	約400	約16,000	約16,000	約260,000	約400

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬18時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約40	-	-	-	約40	-
東京都	-	-	約10	-	約10	-	約20	-
神奈川県	約300	約300	約40	-	約10	約400	約700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約1,100	約50	約4,200	約2,300	約68,000	約700
愛知県	約30,000	約7,900	約200	約20	約2,200	約2,200	約34,000	約40
三重県	約26,000	約3,900	約700	約50	約1,000	約500	約28,000	約200
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約200	約1,200	約3,000	-
大阪府	約11,000	約4,500	約600	-	約4,400	約5,400	約21,000	約200
兵庫県	約5,100	約1,800	約500	-	約200	約1,100	約6,800	約200
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約50	約500	約4,100	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約2,000	約40	約1,300	約400	約24,000	約100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	約20	-	約40	約200	約2,600	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	約10	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	約1,100	約30	約800	約400	約19,000	約300
香川県	約3,200	約500	約200	-	約20	約200	約3,500	約50
愛媛県	約7,100	約800	約300	約20	約80	約300	約7,700	約10
高知県	約25,000	約5,400	約1,000	約90	約900	約400	約28,000	約60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	約1,000	約10	-	約80	約1,700	約20
宮崎県	約7,500	約1,300	約2,200	約30	約300	約300	約10,000	約300
鹿児島県	約300	約90	約200	-	-	約20	約500	約30
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約227,000	約54,000	約11,000	約400	約16,000	約16,000	約270,000	約2,200

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 500	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,200	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 100	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 60
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 700	約 50	約 900	約 20	約 37,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 90	約 50	約 500	約 20	約 31,000	約 30
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 100	約 100	約 500	約 30	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 300	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 20
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,800	約 800	約 8,900	約 1,100	約 600,000	約 1,000

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,000	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 800
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 400	約 60	約 2,200	約 200	約 100,000	約 60
三重県	約 64,000	約 12,000	約 800	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 400	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 400	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,200	約 50	約 900	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 20	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 1,100	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 300
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 40	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 300	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,200	約 100	約 500	約 30	約 47,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,200	約 50	-	約 10	約 5,100	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 12,000	約 800	約 8,900	約 1,100	約 610,000	約 3,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 500	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 100	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 60
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 700	約 50	約 1,000	約 20	約 37,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 90	約 50	約 500	約 20	約 31,000	約 30
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 100	約 100	約 600	約 30	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 300	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 20
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,800	約 800	約 11,000	約 1,100	約 601,000	約 1,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,000	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 800
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 400	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	約 60
三重県	約 64,000	約 12,000	約 800	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 400	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 400	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,200	約 50	約 1,000	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 20	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 1,100	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 300
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 60	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 300	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,200	約 100	約 600	約 30	約 47,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,200	約 50	-	約 10	約 5,100	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 12,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 612,000	約 3,000

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約300	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約200
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,600	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約50	約30	約900	約400	約55,000	約10
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,000	約5,700	約42,000	約40
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約300	約30	約1,100	約300	約33,000	約60
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約30
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約600	約300	約29,000	約30
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約50	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	約40	約40	約600	約400	約45,000	約20
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約50	約10	約200	約200	約17,000	-
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約800	約300	約11,000	約17,000	約503,000	約500

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,100	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	約 50
三重県	約 54,000	約 9,200	約 700	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 200
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 500	約 10	約 3,000	約 5,700	約 42,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 500	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	約 400
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,000	約 30	約 1,100	約 300	約 34,000	約 100
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	約 10	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 1,200	約 20	約 600	約 300	約 30,000	約 300
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 50	約 200	約 18,000	約 80
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 300	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 600	約 400	約 46,000	約 60
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,300	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	約 10	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 11,000	約 300	約 11,000	約 17,000	約 513,000	約 2,600

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	-	約 40	約 60	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 300	約 20	約 1,200	約 1,100	約 75,000	約 200
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,700	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 50	約 30	約 1,000	約 400	約 55,000	約 10
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,800	約 5,700	約 42,000	約 40
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 300	約 30	約 1,200	約 300	約 33,000	約 60
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 30
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	-	約 20	約 600	約 300	約 29,000	約 30
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 90	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	約 40	約 40	約 700	約 400	約 45,000	約 20
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 50	約 10	約 300	約 200	約 17,000	-
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 800	約 300	約 13,000	約 17,000	約 505,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,100	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,700	約 2,500	約 78,000	約 50
三重県	約 54,000	約 9,200	約 700	約 30	約 1,000	約 400	約 56,000	約 200
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 500	約 10	約 3,800	約 5,700	約 43,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 500	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	約 400
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,000	約 30	約 1,200	約 300	約 34,000	約 100
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 80	約 300	約 11,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	約 10	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 1,200	約 20	約 600	約 300	約 30,000	約 300
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 90	約 200	約 18,000	約 80
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 300	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 700	約 400	約 46,000	約 60
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,300	約 10	約 300	約 200	約 19,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	約 10	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 11,000	約 300	約 13,000	約 17,000	約 515,000	約 2,600

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 300	約 30	約 2,700	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 50	約 50	約 2,100	約 800	約 49,000	約 10
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 400	約 40	約 2,100	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 30
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 40	約 70	約 1,100	約 700	約 38,000	約 20
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 50	約 10	約 800	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 800	約 500	約 39,000	約 29,000	約 512,000	約 400

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,100	約 30	約 2,700	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 50
三重県	約 46,000	約 8,900	約 700	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 200
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 600	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 300
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	約 400
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,000	約 40	約 2,100	約 600	約 34,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	約 10	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 1,100	約 40	約 1,200	約 500	約 27,000	約 300
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 300	約 300	約 17,000	約 80
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 300	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,100	約 700	約 39,000	約 60
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 10	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,200	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	約 20	約 600	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 11,000	約 500	約 39,000	約 29,000	約 522,000	約 2,600

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 300	約 30	約 2,800	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 50	約 50	約 2,100	約 800	約 49,000	約 10
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 400	約 40	約 2,200	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 30
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 40	約 70	約 1,400	約 700	約 38,000	約 20
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 50	約 10	約 800	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 800	約 500	約 42,000	約 29,000	約 515,000	約 400

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,100	約 30	約 2,800	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 50
三重県	約 46,000	約 8,900	約 700	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 200
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 600	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 300
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	約 400
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,000	約 40	約 2,200	約 600	約 34,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	約 10	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 1,100	約 40	約 1,200	約 500	約 27,000	約 300
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 400	約 300	約 17,000	約 80
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 300	約 40	約 2,400	約 800	約 38,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,400	約 700	約 39,000	約 60
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 30	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,200	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	約 20	約 600	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 11,000	約 500	約 42,000	約 29,000	約 526,000	約 2,600

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 400	約 70	約 1,300	約 90	約 80,000	約 700
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 60	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 20
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 200	約 60	約 200	約 20	約 26,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 200	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 10	約 100	約 300	約 20	約 34,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 700	約 40	-	約 10	約 11,000	約 90
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,300	約 500	約 2,500	約 600	約 311,000	約 800

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 80	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 800	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 900
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 300	約 20	約 300	約 80	約 45,000	約 40
三重県	約 37,000	約 5,400	約 700	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 300	-	約 10	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 200	-	-	約 40	約 6,300	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,700	約 60	約 200	約 20	約 28,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	約 10	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 50	-	-	-	約 80	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 500	約 50	約 200	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 300	-	-	約 10	約 4,900	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 800	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 80
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,000	約 10	-	-	約 1,800	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,300	約 40	-	約 10	約 13,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	-	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 11,000	約 500	約 2,500	約 600	約 320,000	約 2,400

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 400	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 700
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 60	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 20
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 200	約 60	約 400	約 20	約 26,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 300	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 10	約 100	約 400	約 20	約 34,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 700	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 90
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,300	約 500	約 3,200	約 600	約 311,000	約 800

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 80	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 800	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 900
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 300	約 20	約 400	約 80	約 45,000	約 40
三重県	約 37,000	約 5,400	約 700	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 300	-	約 30	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 200	-	-	約 40	約 6,300	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,700	約 60	約 400	約 20	約 28,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	約 10	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 50	-	-	-	約 80	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 500	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 300	-	-	約 10	約 4,900	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 800	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 400	約 20	約 35,000	約 80
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,000	約 10	-	-	約 1,800	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,300	約 40	約 10	約 10	約 13,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	-	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 11,000	約 500	約 3,200	約 600	約 320,000	約 2,400

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約400	約400	-	-	-	約200	約500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
山梨県	約2,900	約500	-	-	-	約100	約3,100	-
長野県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,100	約300	-	-	-	約40	約1,100	-
静岡県	約69,000	約18,000	約200	約30	約1,700	約1,300	約72,000	約200
愛知県	約29,000	約8,200	-	約10	約400	約1,300	約31,000	-
三重県	約28,000	約4,000	約20	約30	約200	約300	約29,000	-
滋賀県	約900	約400	-	-	-	約100	約1,000	-
京都府	約1,300	約700	-	-	-	約700	約2,100	-
大阪府	約9,800	約4,600	-	-	約10	約3,100	約13,000	約30
兵庫県	約4,500	約1,700	-	-	-	約600	約5,100	-
奈良県	約2,900	約700	-	約10	-	約300	約3,200	-
和歌山県	約21,000	約3,200	約30	約30	約400	約200	約22,000	約10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,000	約600	-	-	-	約100	約2,100	約10
広島県	約200	約200	-	-	-	約20	約200	-
山口県	約30	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約18,000	約3,800	-	約20	約300	約200	約19,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	-	約90	約3,300	-
愛媛県	約7,000	約900	-	約10	-	約100	約7,100	-
高知県	約29,000	約5,700	-	約50	約400	約200	約30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約40	約300	-
大分県	約600	約300	-	-	-	約40	約600	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約20	約10	約200	約7,900	約10
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約10	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約240,000	約56,000	約500	約200	約3,400	約9,400	約253,000	約300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 900	約 30	約 1,700	約 1,300	約 73,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 600	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 100
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 300	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 300	-	-	約 600	約 5,400	約 100
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,500	約 30	約 400	約 200	約 23,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 40	-	-	-	約 70	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 600	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,000	約 900	約 900	約 10	-	約 100	約 8,000	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,100	約 20	約 10	約 200	約 9,800	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 10	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 9,900	約 200	約 3,400	約 9,400	約 263,000	約 1,800

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 200	約 30	約 1,800	約 1,300	約 72,000	約 200
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 20	約 30	約 300	約 300	約 29,000	-
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 30	約 30	約 500	約 200	約 22,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 300	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	-	約 50	約 500	約 200	約 30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 200	約 20	約 20	約 200	約 7,900	約 10
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 500	約 200	約 4,200	約 9,400	約 254,000	約 300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 900	約 30	約 1,800	約 1,300	約 73,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 600	約 30	約 300	約 300	約 30,000	約 100
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 300	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 300	-	-	約 600	約 5,400	約 100
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,500	約 30	約 500	約 200	約 23,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 40	-	-	-	約 70	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 600	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,000	約 900	約 900	約 10	-	約 100	約 8,000	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 500	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,100	約 20	約 20	約 200	約 9,800	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 10	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 9,900	約 200	約 4,200	約 9,400	約 263,000	約 1,800

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬18時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約10	-	約10	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約200	約50	約4,000	約2,300	約67,000	約200
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,100	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約20	約50	約900	約500	約28,000	-
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約10	約1,200	約2,700	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約3,500	約5,400	約20,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約50	約1,100	約6,200	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約10	約500	約4,000	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約30	約40	約1,300	約400	約22,000	約10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	-	約200	約2,500	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約800	約400	約18,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	約10	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約40	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	-	約90	約800	約400	約27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約30	約300	約300	約8,300	約10
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約500	約400	約14,000	約16,000	約258,000	約300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20	-
神奈川県	約 300	約 300	約 50	-	約 10	約 400	約 700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 900	約 50	約 4,000	約 2,300	約 68,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 200	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	約 40
三重県	約 26,000	約 3,900	約 600	約 50	約 900	約 500	約 28,000	約 100
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 300	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 200
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 300	-	約 50	約 1,100	約 6,500	約 100
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,500	約 40	約 1,300	約 400	約 23,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 20	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	約 40	-	-	-	約 60	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 600	約 30	約 800	約 400	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 10	約 200	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,100	約 800	約 900	約 20	約 40	約 300	約 8,300	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 800	約 400	約 27,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,000	約 30	約 300	約 300	約 10,000	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 20	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 9,900	約 400	約 14,000	約 16,000	約 267,000	約 1,800

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 200	約 50	約 4,200	約 2,300	約 67,000	約 200
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 20	約 50	約 1,000	約 500	約 28,000	-
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 200	約 1,100	約 6,300	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 30	約 40	約 1,300	約 400	約 22,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	-	約 30	約 800	約 400	約 18,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 20	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 70	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	-	約 90	約 1,000	約 400	約 27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 200	約 30	約 300	約 300	約 8,400	約 10
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 500	約 400	約 16,000	約 16,000	約 260,000	約 300

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20	-
神奈川県	約 300	約 300	約 50	-	約 10	約 400	約 700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 900	約 50	約 4,200	約 2,300	約 68,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 200	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	約 40
三重県	約 26,000	約 3,900	約 600	約 50	約 1,000	約 500	約 28,000	約 100
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 300	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 200
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 300	-	約 200	約 1,100	約 6,600	約 100
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,500	約 40	約 1,300	約 400	約 24,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 20	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	約 40	-	-	-	約 60	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 600	約 30	約 800	約 400	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 20	約 200	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,100	約 800	約 900	約 20	約 70	約 300	約 8,400	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 1,000	約 400	約 28,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,000	約 30	約 300	約 300	約 10,000	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 20	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 9,900	約 400	約 16,000	約 16,000	約 269,000	約 1,800

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 400	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 600
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,200	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 60	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 20
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 10
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 200	約 50	約 900	約 20	約 37,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 10	約 100	約 500	約 30	約 46,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 700	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,300	約 800	約 8,900	約 1,100	約 599,000	約 800

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 80	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 800	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 200	約 60	約 2,200	約 200	約 100,000	約 50
三重県	約 64,000	約 12,000	約 700	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 300	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 200	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,700	約 50	約 900	約 20	約 38,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	約 10	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 50	約 20	-	-	約 1,800	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 500	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 300	約 30	約 40	約 10	約 23,000	約 20
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 800	約 60	約 500	約 30	約 48,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 500	約 30	約 47,000	約 70
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,000	約 50	-	約 10	約 5,000	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,300	約 20	約 200	約 20	約 22,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	-	約 1,000	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 11,000	約 800	約 8,900	約 1,100	約 608,000	約 2,700

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 400	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 600
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 60	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 20
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 10
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 200	約 50	約 1,000	約 20	約 37,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 10	約 100	約 700	約 30	約 46,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 700	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,300	約 800	約 11,000	約 1,100	約 601,000	約 800

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 80	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 800	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 200	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	約 50
三重県	約 64,000	約 12,000	約 700	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 300	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 200	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,700	約 50	約 1,000	約 20	約 38,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	約 10	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 50	約 20	-	-	約 1,800	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 500	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 300	約 30	約 60	約 10	約 23,000	約 20
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 800	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 700	約 30	約 47,000	約 70
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,000	約 50	-	約 10	約 5,000	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,300	約 20	約 200	約 20	約 22,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	-	約 1,000	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 11,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 610,000	約 2,700

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約200	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約200
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,600	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約20	約30	約900	約400	約55,000	-
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,000	約5,700	約42,000	約40
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約30	約30	約1,100	約300	約32,000	約10
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約20
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約600	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約50	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	-	約40	約600	約400	約45,000	-
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約200	約10	約200	約200	約17,000	約10
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約500	約300	約11,000	約17,000	約503,000	約300

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 900	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	約 40
三重県	約 54,000	約 9,200	約 600	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 100
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 300	約 10	約 3,000	約 5,700	約 42,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 300	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	約 300
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 1,500	約 30	約 1,100	約 300	約 34,000	約 50
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 50
山口県	約 1,100	約 200	約 40	約 10	-	約 20	約 1,100	約 10
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 600	約 20	約 600	約 300	約 29,000	約 200
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 50	約 200	約 18,000	約 50
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 900	約 20	約 600	約 500	約 39,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 700	約 40	約 600	約 400	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 900	約 20	-	約 90	約 3,500	約 80
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,100	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 200
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	約 10	約 1,000	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 9,900	約 300	約 11,000	約 17,000	約 512,000	約 2,200

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	-	約 40	約 60	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 200	約 20	約 1,200	約 1,100	約 75,000	約 200
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,700	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 20	約 30	約 900	約 400	約 55,000	-
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,800	約 5,700	約 42,000	約 40
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 30	約 30	約 1,200	約 300	約 32,000	約 10
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 20
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	-	約 20	約 600	約 300	約 29,000	-
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 90	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	-	約 40	約 800	約 400	約 45,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 200	約 10	約 300	約 200	約 17,000	約 10
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 500	約 300	約 13,000	約 17,000	約 505,000	約 300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約100	-	-	-	約100	-
東京都	約20	約20	約10	-	-	約40	約70	-
神奈川県	約200	約200	約50	-	-	約80	約400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約900	約20	約1,200	約1,100	約76,000	約500
愛知県	約72,000	約24,000	約200	約20	約2,700	約2,500	約78,000	約40
三重県	約54,000	約9,200	約600	約30	約900	約400	約56,000	約100
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約100	約1,700	約9,600	-
大阪府	約33,000	約11,000	約300	約10	約3,800	約5,700	約43,000	約300
兵庫県	約14,000	約3,700	約300	約10	約100	約1,200	約16,000	約300
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約100	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約1,500	約30	約1,200	約300	約34,000	約50
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	約20	約10	約80	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約50
山口県	約1,100	約200	約40	約10	-	約20	約1,100	約10
徳島県	約28,000	約6,200	約600	約20	約600	約300	約29,000	約200
香川県	約17,000	約2,000	約200	約10	約90	約200	約18,000	約50
愛媛県	約37,000	約6,300	約900	約20	約800	約500	約39,000	約40
高知県	約44,000	約9,800	約700	約40	約800	約400	約46,000	約100
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約40	-	-	-	約40	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	約900	約20	-	約90	約3,500	約80
宮崎県	約16,000	約3,100	約2,100	約10	約300	約200	約19,000	約200
鹿児島県	約600	約100	約400	-	-	約10	約1,000	約50
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約474,000	約110,000	約9,900	約300	約13,000	約17,000	約514,000	約2,200

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 200	約 30	約 2,700	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 20	約 50	約 2,000	約 800	約 49,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 30	約 40	約 2,200	約 600	約 32,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 20
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,200	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 700	約 400	約 16,000	約 10
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 500	約 500	約 39,000	約 29,000	約 512,000	約 300

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,000	約 30	約 2,700	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 40
三重県	約 46,000	約 8,900	約 600	約 50	約 2,000	約 800	約 50,000	約 100
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 300	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 400
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 300	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	約 300
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 1,500	約 40	約 2,200	約 600	約 34,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 50
山口県	約 1,200	約 100	約 40	約 10	-	約 40	約 1,200	約 10
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 600	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 200
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 300	約 300	約 17,000	約 50
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 900	約 40	約 1,900	約 800	約 38,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 700	約 70	約 1,200	約 700	約 38,000	約 100
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 900	約 30	約 10	約 200	約 3,800	約 80
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,000	約 10	約 700	約 400	約 18,000	約 200
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	約 20	約 900	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 9,900	約 500	約 39,000	約 29,000	約 521,000	約 2,200

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 200	約 30	約 2,800	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 20	約 50	約 2,100	約 800	約 49,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 30	約 40	約 2,200	約 600	約 32,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 20
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,400	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 800	約 400	約 16,000	約 10
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 500	約 500	約 42,000	約 29,000	約 515,000	約 300

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,000	約 30	約 2,800	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 40
三重県	約 46,000	約 8,900	約 600	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 100
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 300	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 400
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 300	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	約 300
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 1,500	約 40	約 2,200	約 600	約 34,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 50
山口県	約 1,200	約 100	約 40	約 10	-	約 40	約 1,200	約 10
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 600	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 200
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 400	約 300	約 17,000	約 50
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 900	約 40	約 2,400	約 800	約 38,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 700	約 70	約 1,400	約 700	約 39,000	約 100
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 900	約 30	約 30	約 200	約 3,800	約 80
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,000	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 200
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	約 20	約 900	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 9,900	約 500	約 42,000	約 29,000	約 525,000	約 2,200

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。